

軌道事業につきましては、電車の台車を更新するとともに、専用軌道改良や電車停留場上屋の整備を行うなど、乗客サービスの向上に努めました。

経営面では、効率的な事業の執行に努めたことなどにより、2億6,147万円の純利益を生じました。

一方、自動車運送事業につきましては、低公害低床型バス5両を購入するとともに、バス停留所上屋の整備を行うなど、乗客サービスの向上に努めました。

経営面では、効率的な事業の執行に努めましたが、乗客数の減少などにより、5億267万1千円の純損失となりました。

交通事業特別会計全体としては、2億4,120万1千円の純損失となりました。

今後とも、極めて厳しい経営環境ではございますが、経営の健全化を図るための新たな計画の策定に取り組むなど、企業管理者・職員が一丸となって事業の効率化をさらに推進し、市民の交通手段としての市電・市バスの維持存続と経営基盤の強化、輸送サービスの向上に努め、市民に信頼され、支持される市営交通を目指して努力してまいります。

水道事業特別会計におきましては、市民に安全で良質な水を安定的に供給するため、滝之神排水処理場の脱水設備の更新をはじめ、ポンプ所及び配水池等の施設整備を行うとともに、配水管の布設工事などを行いました。

経営面では、効率的な経営に努めたことなどにより、9億1,668万4千円の純利益を生じました。

今後におきましても、健全経営に努めるとともに、水道施設の整備を計画的に推進し、安全でおいしい水の安定的な供給に努めてまいります。

工業用水道事業特別会計におきましては、一倉工業団地の給水事業所への安定的な給水に努めました。

経営面では、効率的な経営に努めたことなどにより、367万5千円の純利益を生じました。

今後におきましても、健全経営に努めるとともに、給水事業所への安定的な給水に努めてまいります。

公共下水道事業特別会計におきましては、谷山処理場の水処理施設の増設をはじめ、各処理場の施設整備を行うとともに、広木地区や松林寺地区のほか、吉野